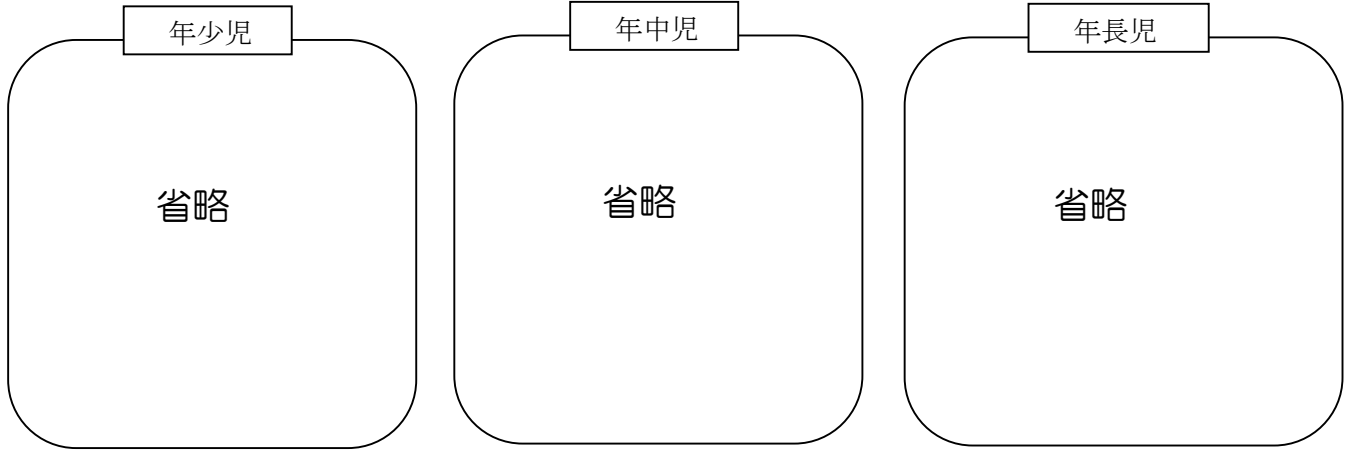


「わくわくタイム」～異年齢 触れ合い活動～

年少児	ぞう組 (水)	・きりん組 (黄)	・うさぎ組 (赤)
年中児	さくら組 (薄桃)	・すみれ組 (紫)	
年長児	かなりや組 (橙)	・こまどり組 (青)	

(1) 幼児の姿



(2) ねらい

年少児…先生や年長児と一緒に参加する。

年中児…先生や友達と一緒に喜んで参加する。

年長児…年少児の世話をすることで親しみをもち、一緒に活動する楽しさを味わう。

(3) 活動の内容

時刻	幼児の活動	環境構成 (★) と教師の援助 (○)
9:10	<ul style="list-style-type: none"> ○ わらべうた「たけのこめだした」リズム遊び「たけのこ体操」をする。園庭に集まる。(雨天時：年少児と年長児は年少児クラス，年中児は遊戯室にて行う。) ・ 年長児は年少児と，年中児はさくら組とすみれ組で二人組になる。 ・ わらべうた「たけのこめだした」をする。 ・ 一緒にする友達に挨拶をする。 ・ リズム遊び「たけのこ体操」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 活動がしやすいように場所を確保する。 ○ 年少児が安心して活動に参加出来るように，年少児のクラスごとにペアで集まるようにする。 ○ 年中児はいろいろな友達と触れ合えるように，教師と一緒に二人組をつくるようにする。 ○ 年長児が自分から進んで年少児を迎えに行く姿を認め，必要に応じて声をかけていく。 ○ 全員が揃うまで，わらべうたをしながら楽しく待てるようにする。 ○ 活動に参加できにくい幼児には声をかけたり，気持ちを受け止めたりしながら一緒に楽しめるようにする。 ○ 教師が体を大きく動かす事で，幼児も伸び伸びと体を動かし，心地よさが味わえるようにする。 ○ 一緒にした友達と言葉を交わすことで，今後の「わくわくタイム」や遊びに期待が持てるようにする。
9:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒にした友達にお礼を言う。 	

(4) 評価の観点

- 異年齢の幼児と触れ合って遊ぶ楽しさを味わうことができていたか。
- 異年齢の幼児との触れ合いを楽しめるような援助ができていたか。